

2014年度公開シンポジウム

資源・開発・政治 ～中東とその周辺地域の視座～

「アラブの春」から三年が経ち、中東地域の政治は国際政治や地域情勢に大きく揺さぶられています。そして、その背後では資源をめぐるポリティクスが見え隠れしています。今、中東で起きている政治変動を、資源そして開発の観点からはどのように理解できるでしょうか。シンポジウムでは、資源、経済、そして地域研究の専門家にご講演いただき、当該問題について議論を深めます。

日時： 2014年7月5日(土)
13:30-17:00

会場： 東京大学駒場キャンパス
学際交流ホール

プログラム

- 13:30 開会の挨拶
- 13:35-14:05 小林良和(日本エネルギー経済研究所化石エネルギー・電力ユニット石油グループマネージャー)
「国際石油天然ガス市場と中東地域」
- 14:05-14:35 土屋一樹(アジア経済研究所地域研究センター研究員)
「エジプトのエネルギー問題: スイス新政権における財政と開発への影響」
- 14:50-15:20 高橋基樹(神戸大学国際協力研究科教授)
「資源の呪いを超えて～世界経済の構造転換と西インド洋圏開発の課題」
- 15:20-15:50 猪口相(経済産業省資源エネルギー庁省エネルギー新エネルギー部政策課国際室 課長補佐)
「中東における省エネルギー導入計画の現状と課題」
- 16:00-17:00 パネルディスカッション
- 17:00 閉会の挨拶

問い合わせ先：東京大学中東地域研究センター
03-5465-7724/info@utcmes.c.u-tokyo.ac.jp
<http://park.itc.u-tokyo.ac.jp/UTCMES/>

入場無料・参加申込不要

登壇者紹介

小林良和:

日本エネルギー経済研究所化石エネルギー・電力ユニット石油グループ マネージャー
1973年北海道生まれ。1996年、一橋大学社会学部卒業、2004年、ジョンス・ホプキンス大学高等国際問題研究大学院修士課程修了。東燃株式会社(現:東燃ゼネラル株式会社)勤務を経て、2004年、財団法人日本エネルギー経済研究所入所。2012年より現職。

土屋一樹:

アジア経済研究所地域研究センター 研究員

1971年生。専門は中東経済、開発経済学。主な著作に『中東アラブ企業の海外進出』(編著、岩波書店、2013年)、『エジプト動乱ー1.25革命の背景』(共編著、アジア経済研究所、2012年)、『中東アラブ諸国における民間部門の発展』(編著、アジア経済研究所、2010年)がある。

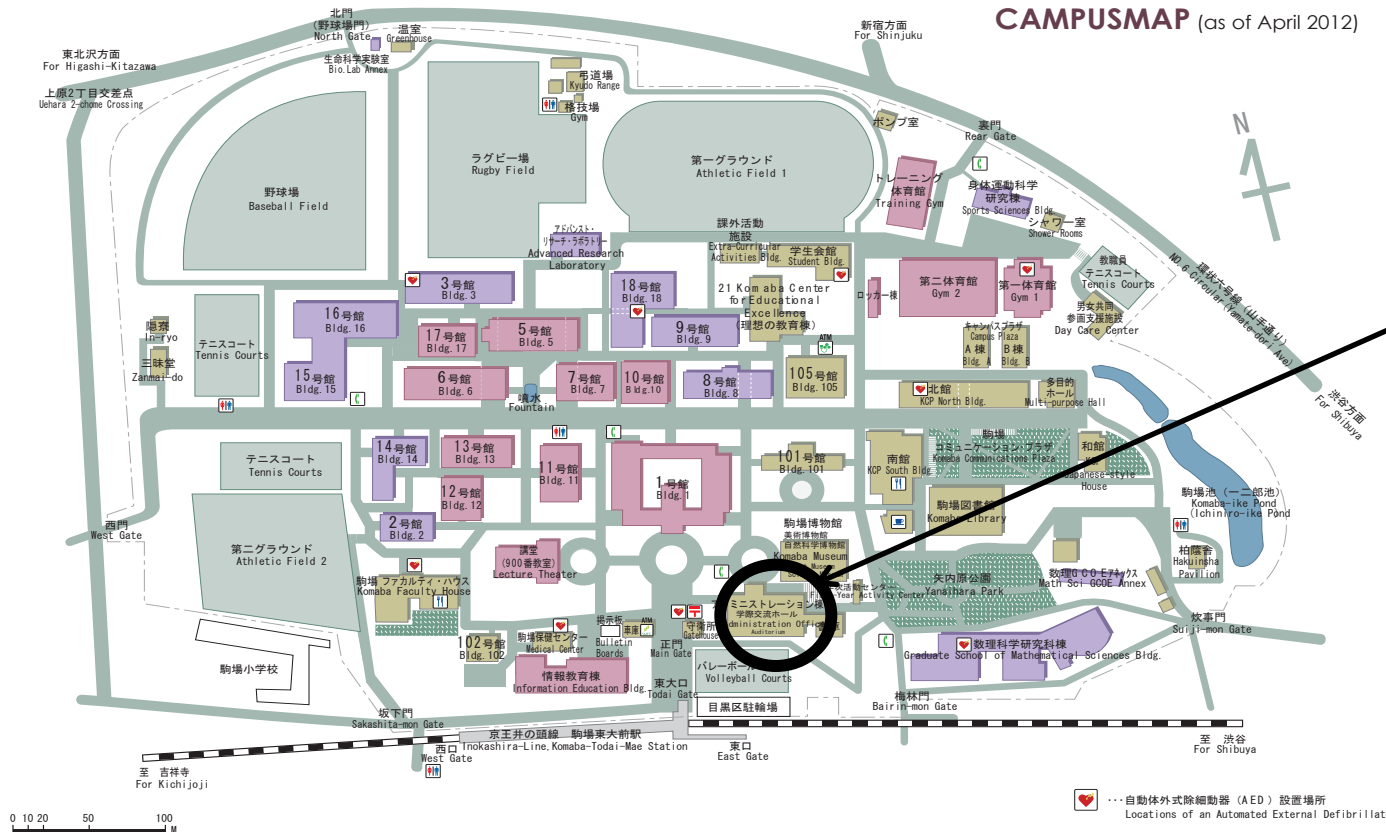
高橋基樹:

神戸大学国際協力研究科 教授
東京大学経済学部経済学科および経済学部経営学科を卒業。1991年 ジョンス・ホプキンス大学高等国際問題研究大学院修了。日本郵船、国際開発センター研究員などを経て現職。専門はアフリカ経済。

猪口相:

経済産業省資源エネルギー庁省エネルギー新エネルギー部政策課国際室 課長補佐
1990年、通商産業省入省。在UAE大使館経済班長、経済産業省中東アフリカ課などをを経て、2013年より対サウジ省エネ協力に従事。2001年、石油天然ガス課にてアザデガン油田アラビア石油交渉を担当した経験を有する。

キャンパス配置図 (2012.4現在)
CAMPUSMAP (as of April 2012)



会場

● 自動体外式除動器 (AED) 設置場所
Locations of an Automated External Defibrillator